

直売所を視察する受講生



修了証書を受け取る阿久津さん



第9期女性大学を修了した受講生の皆さん

直売所視察やコメの食べくらべを実施 JA女性大学第3回講座・修了式



女性大学は豊かで暮らしやすい地域社会の実現と、地域とのつながりを目指す「JAくらしの活動」の一環として毎年開催しています。

受講生は同市砂田町のJAグリーンインターパーク直売所を視察。直売所について説明を聞いた後、店内にて思いに農産物を購入していました。

次に受講生は同市戸祭元町のJA本所に移動。米麦課の神山裕信課長が講師を務め、コメが消費者の食卓に届くまでの過程や品質管理、品種ごとの特徴を解説しました。

説明を聞いた受講生は「みやおとめ」「なすひかり」「どしきの星」のおにぎりを食べくらべ、食味の違いを発表し合いました。

修了式では受講生を代表して阿久津麻希さんが修了証書を受け取り、1年の活動を締めくくりました。

JAは10月25日、宇都宮市内で女性大学第3回講座「直売所視察・お米を食べくらべよう」、第9期女性大学修了式を開催し、受講生21人が参加しました。

に関するお知らせ

1. 営農経済センターおよび購買店舗の集約・再編

令和5年4月1日(土)より

現行の8営農経済センター(8購買店舗)を4営農経済センター(5購買店舗)※南河内は生産資材のみを扱う店舗)に集約・再編します。

これにより、西部・東部・河内の購買店舗については、集約に向けた整理を行うため、3月下旬に閉所させていただきます。詳細な日程は改めてお知らせいたします。

現 行	再 編 後
宇都宮北部営農経済センター	宇都宮北部営農経済センター
宇都宮西部営農経済センター	
宇都宮南部営農経済センター	宇都宮南部営農経済センター
宇都宮東部営農経済センター	
上河内営農経済センター	上河内営農経済センター
河内営農経済センター	
南河内営農経済センター	上三川営農経済センター 南河内購買店舗
上三川営農経済センター	

※第24回通常総代会(令和4年5月26日)承認事項

購買品の購入や注文については、再編後のセンターまたはご自宅・ほ場に近いセンターへお願ひいたします。

2. 集約されるセンターでの肥料自己取り対応

組合員の皆さまのご意見を踏まえ、集約されるセンター(西部、東部、河内)でも一定の条件の下、予約取りまとめに係る肥料自己取りの対応を行います。

①春用予約(令和5年3月までは現状通りの対応)

予約申込数量が品目合計で100袋以上を対象とします。

引取期間を限定して対応します。

②秋用(麦)予約

引取期間を限定して対応します。

③上記の条件に該当しない場合

申し訳ございませんが、集約店舗(北部・南部・上河内・南河内・上三川)での自己取りまたは配送の利用をお願いいたします。

組合員の 皆さまへ 「宮農経済事業改革」

3.青果物集出荷所の運営方法

令和5年度は現行での集荷体制を継続します。

(経過)

当初計画では令和5年度より10施設を7施設への集約・再編および集荷品目・場所の変更を行う予定でしたが①生産者の皆さまのご意見・ご要望②イチゴ3品種生産方針と青果物全般の集荷所集約後の販売方針を明確にすること③全農広域パッケージセンターの稼働時期との調整などを踏まえ、今後の協議を進めることとします。

4. 営農指導強化に向けた具体的取り組み

(1)イチゴ、トマト、アスパラガスに特化した専任の指導員を配置します。(園芸課内2人)

(2)青果物集荷拠点に組織事務局を配置します。(段階的に配置)

(3)営農経済センターに営農相談員を配置します。(旧8営農経済センター単位での配置)

多様な農業者による地域振興を進めるため、担い手の育成・確保、組合員のニーズへの対応を強化します。

※令和5年度は南部営農経済センターをモデル地区とし、令和6年度以降の体制強化を目指します。

(4)営農相談員の業務用携帯電話を開示し、連絡・対応を速やかに行います。

(5)スマートフォン(アプリ)使用による情報発信(新規登録農薬、災害情報など)を行います。

(6)スマート農業の実践による農業所得の増大(収量・生産性向上、省力化)を目指します。

(7)営農・経済部門連携による組織指導・個人巡回指導を行います。

営農情報の発信(肥料・農薬相談)、肥料・農薬の実証実験、新規就農者への支援など。

経済課からのお知らせ

営農経済センターおよび購買店舗の集約・再編に向けて、

店舗の改修工事を行っております。

また**店舗購買品の在庫整理**を実施しております。

ご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力のほどよろしく
お願い申し上げます。

本格出荷に向けにっこり目ぞろえ会

JA梨専門部



目ぞろえを行う参加者



JA 梨専門部は9月22日、26日、27日の3日間、「令和4年産梨（にっこり）出荷目ぞろえ会」を支部ごとに宇都宮市内の4会場で開きました。合計約120人が参加し、本格出荷に向けて生育状況やナシの販売情勢についての報告や目ぞろえが行われました。

26日、清原支部が宇都宮市上籠谷町の東部選果場で目ぞろえ会を行い、同専門部員や関係機関の担当者ら約40人が参加しました。最初にJAの担当者が2022年度の販売状況を報告。JAの技術顧問と県の担当者がにっこりの生育状況と今後の管理や収穫時の注意点を説明し、適切な秋季防除や落葉処理を呼び掛けました。

目ぞろえ会では、参加者が現物を見ながら色や形の規格を確認しました。

本格出荷に向け販売対策会議・出荷目ぞろえ会

JAトマト専門部越冬トマトグループ



JA トマト専門部越冬トマトグループは10月7日、宇都宮市上籠谷町のJA東部選果場で販売対策会議・出荷目ぞろえ会を開き、同専門部員やJA職員、関係機関の担当者ら19人が参加しました。

加藤丈司グループ長は「コロナ禍で集まる機会が減ってしまった。ぜひ意見交換の場にしてほしい」とあいさつしました。販売対策会議では、全農とちぎの担当者が22年産トマトの販売状況や今後の見通しを報告。JAの担当者が販売計画を説明し「販売先を確保するため、価格面だけではないトマトの魅力をPRしていきたい」と方針を示しました。また河内農業振興事務所の担当者とJA技術顧問が生育状況と今後の栽培管理について説明。夜間の湿度管理や病害虫に対する薬剤の予防散布の実施について注意・徹底を呼び掛けました。

出荷目ぞろえ会では同部員が現物を見ながらトマトの形状や着色の度合いを確認し、出荷規格の統一を図りました。



目ぞろえをする部員ら

本格出荷に向け生シイタケ目ぞろえ会開催

JAきのこ専門部



目ぞろえを行う参加者



JA きのこ専門部は10月13日、宇都宮市田野町の西部選果場で「22年産生しいたけ出荷目ぞろえ会」を開きました。部員や関係機関の担当者ら30人が参加し、22年産生シイタケの販売対策について確認するとともに現物を使って目ぞろえを行いました。JAの担当者が販売状況について説明し、22年産の販売目標を出荷数量61トン、販売金額6100万円、1kgあたり平均単価1005円とすることを申し合わせました。また販売対策について、資材価格高騰など情勢が厳しさを増す中、関係機関と連携を図りながら安定した販売単価の確保・底上げを

図ることで、生産者所得確保に努めることなどを確認。出荷目ぞろえ会では各規格の現物を並べ、出荷規格を確認しました。同専門部の福田賢一専門部長は「今年は暑さが厳しかったため苦労しているのではないかと思う。今回の目ぞろえ会を今後の出荷に生かしてほしい」とあいさつしました。

ホウレンソウ規格統一出荷を JAほうれん草専門部南河内支部



南河内野菜集荷所で行われた
ホウレンソウの出荷目ぞろえ会

JA ほうれんそう専門部南河内支部は10月18日、ホウレンソウの出荷目ぞろえ会を下野市田中の南河内野菜集荷所で開催。部員や関係機関の担当者ら約60人が参加し、出荷規格や栽培方法などを確認しました。

同専門部の本橋寛隆部長は「規格の統一を行い、より良いホウレンソウを皆さんと作り、出荷していきたい」とあいさつしました。

JA全農とちぎの担当者が2022年産の販売情勢を報告。同JAの担当者が出荷規格について説明しました。L・M・Sの葉茎長標準を示して「すぐりを良くして根を切る」

「土はよく落とす」「FGフィルム袋を使用する」など、調整を求めました。注意事項では、病害虫株を絶対に出荷しないことや、適期収穫することを指摘しました。

現物を使った目ぞろえでは、品質・選別・調整が良く、品質がそろっているかを確認しました。

とちあいか出荷始まる JA苺専門部

JA は10月19日、上三川町上蒲生の上三川野菜集荷所で管内産イチゴの初出荷を行いました。

19日は生産者2人が「とちあいか」計12kgを出荷。JA職員がイチゴを丁寧に確認して梱包しました。この日持ち込まれたイチゴは宇都宮市中央卸売市場に出荷されました。JAの担当者によると、今シーズンは病害虫の発生が比較的少なく、天候にも恵まれ生育は順調。食味も例年通り良好とのこと。また、今シーズンは「とちあいか」の生産が拡大し、生産戸数が前年比1.5倍、栽培面積が2.5倍に増加しました。この日出荷した伊東英希さんは「農薬をできるだけ抑えて、品質の良いイチゴを出荷していきたい」と意気込みを語りました。JA管内産イチゴの昨シーズンの出荷量は3254t。今シーズンは3650tの出荷を見込んでいます。出荷は12月に最盛期を迎え、6月まで続きます。



持ち込まれたイチゴを確認する職員

本格出荷に向け秋冬ねぎ現地検討会・出荷目ぞろえ会 JAねぎ専門部



目ぞろえを行う参加者

JA ねぎ専門部は10月25日、宇都宮市白沢町の磯進さんのは場で「秋冬ねぎ現地検討会」を開きました。ネギ生産者や関係機関の担当者など約40人が参加し、本格出荷に向けて栽培管理などを確認しました。

現地検討会ではは場を視察し、栽培状況を確認。関係機関の担当者が品種や肥料資材を紹介し、情報交換を行いました。検討会後は同市中岡本町の河内野菜集荷場で出荷目ぞろえ会を開催。全農とちぎの担当者が販売経過について説明しました。また県の担当者が今後の管理について説明し、計画的な薬剤防除を呼び掛けました。目ぞろえ会では市場担当者が出荷規格を説明。

参加者は現物を見ながら規格の統一を図りました。管内の秋冬ねぎは11月から出荷最盛期を迎え、来年の4月頃まで出荷が続きます。



第24回栃木県JA年金友の会 グラウンド・ゴルフ大会 (10月26日)

栃木県JA年金友の会・JA農林中金は清原球場で第24回栃木県JA年金友の会グラウンド・ゴルフ大会を3年ぶりに開催しました。JAうつのみやからは12人が参加しました。



第23回組合員親善ゴルフ大会 (10月28日)

JAIは宇都宮市上横倉町のサンヒルズカントリークラブで組合員親善ゴルフ大会を3年ぶりに開催し、147人が参加しました。表彰はハーフの結果をもとに行い、各コースで矢古宇隆夫さん、田口利男さん、青柳小太郎さん、若林由則さんがそれぞれ1位となりました。また、田口利男さんがホールインワンを達成しました。



子どもたちに あたたかい料理を (10月24日)

みどり会姿川支部は、宇都宮市戸祭4丁目の昭和こども食堂で調理ボランティアを行いました。柴田文子支部長は「簡単に作れ、子どもたちが喜ぶメニューを選びました。冷え込んできたのであたたかい料理にして良かったです」と話しました。



机に並ぶ今回のメニュー 4品



サラダを作る支部長(右)と会員

組合員の皆さんからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。



全国和牛能力共進会 (鹿児島県)初出場の ウカジファームを激励 (9月22日)

JAの横松久夫組合長と見形繁常務が、
第12回全国和牛能力共進会第8区(去勢肥育牛)
に栃木県代表として出場したウカジファームを激励しました。
10月9日に行われた審査では、優等賞29席を受賞しました。



宇梶博文社長(右)に
横松組合長と
見形常務



出品牛と宇梶社長

管内インフォメーション

JA 役員らがとちぎ米の安定供給施設を視察

とちぎ米広域集出荷センター



JA 常勤役員は10月5日、全農とちぎが矢板市内に建設した大型低温倉庫「とちぎ米広域集出荷センター」を視察しました。

同施設はフレコンによる集荷需要の高まりや、実需者への安定した品質での通年供給に対応するため設置。最大収容力は2万1500t。天候に左右されず入出庫が可能で、低温保管庫が11室あり、検査室も併設されています。同視察はJAの常勤役員が施設の規模や稼働状況、管理方法を把握することが目的。当日は施設の担当者から説明を受けました。



施設を見学する役員ら

女性生産者が学ぶ機会を にら専門部女性勉強会



SDGsについて解説を聞く参加者



JA にら専門部は10月21日、上三川町大字上三川の上三川営農経済センターで「にら女性勉強会」を開き、女性ニラ生産者や県・JAの担当者など約20人が参加しました。同勉強会は、女性生産者でも参加しやすい場を作るため、定期的に開催しています。今回は資材などの価格高騰が続く中、経営の見直しにつなげるため、SDGsとGAPをテーマに開催しました。勉強会では最初にJA全中くらしの活動推進アドバイザーの佐久間幸子さんがSDGsについて解説。次にJAの担当者がGAPについて説明し、農薬の適正管理などを呼び掛けました。また県の担当者がニラの品種特性などを説明しました。最後に参加者は同勉強会を立ち上げた女性農業士の坂本典子さんのは場を見学。参加者は設備やニラの栽培状況を見学し、活発に意見交換を行いました。坂本さんは「この会では知らないことがあっても聞きやすい。気楽に和気あいあいとした雰囲気で開催している」と語りました。

みどり会城山支部活動について レクリエーション大会を開催しました!!

みどり会城山支部では毎年レクリエーションや寄せ植え教室などの活動を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大による自粛で思うような活動がしばらく行えませんでした。10月に今年初めてレクリエーション大会（ボウリング・輪投げ）を行いました。久々の活動ということもあり、いきいきと活動を行いました。

1日も早くコロナ禍が終息し元の活動ができるよう願っています。



レクリエーション大会に参加した会員



輪投げの様子



ボウリングの様子

みどり会横川支部活動について

横川支部では、新型コロナウイルス感染症対策をしながら活動しています。6月にはウォーキング大会を実施し、栃木県井頭公園にあるバラ園に行きました。天気も良好で、会話も弾み、楽しい時間を過ごすことができました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で活動の一部制限もありますが、これからどんな活動ができるのかを考え、楽しく過ごしていきたいと思います。



ウォーキング大会に参加した会員

ワンプレートレシピ One plate recipe

栗いむシチュー



材料(6人分)

むき栗	500g								
鶏肉(手羽中)	200g								
レンコン	200g								
タマネギ	1/2個								
ニンジン	1本								
サラダ油	大さじ1								
水	500ml								
白ワイン	30ml								
塩こしょう	適宜								
砂糖	適宜								
ホワイツトソース	<table border="0"> <tr> <td>バター</td> <td>50g</td> </tr> <tr> <td>小麦粉</td> <td>30g</td> </tr> <tr> <td>牛乳</td> <td>600ml</td> </tr> <tr> <td>生クリーム</td> <td>100ml</td> </tr> </table>	バター	50g	小麦粉	30g	牛乳	600ml	生クリーム	100ml
バター	50g								
小麦粉	30g								
牛乳	600ml								
生クリーム	100ml								

作り方

- ① レンコンは乱切り、タマネギはざく切り、ニンジンは乱切りにする。
- ② 鍋にサラダ油を熱し、①とむき栗、鶏肉を入れ、タマネギが透き通るまで中火で炒め、水、白ワインを入れ強火で20分ほど煮込む。
- ③ 別の鍋でホワイトソースを作る。バターを弱火で溶かし、ふるった小麦粉を一度に入れ木べらで滑らかにする。牛乳、生クリームの順に少量ずつ加えながらろみを付けていく、最後に塩こしょう、砂糖で味を調える。
- ④ ③のホワイトソースの鍋に②の材料を入れ、さらに弱火で10~15分煮込む。ホウレンソウなど(材料外)をあしらい出来上がり。

茨城県笠間市にある
天晴(旧キッチン晴人)
オーナーシェフ
ながい ともかず
永井 智一



シェフ永井のおすすめ

今月の直売所情報

年末年始用のお買い物は、JA直売所で！

直売所は終セール12月30日まで実施します!!

対象店舗：JAグリーンインターパーク・JAグリーンかみかわち・南河内グリーンセンター

特売 南河内
グリーンセンター
第3金土日曜は
特売デー

お米の特売日 JAうつのみや お薦めのみやおとめ(コシヒカリ)
をお買い得価格にて販売します!!

JAグリーンインターパーク
直売所 毎月第3日曜日(12/18)

& JAグリーンかみかわち
直売所 每月8の付く日(12/8、18、28)

南河内グリーンセンター
生産者さん募集中!!

北側ガラス温室テナントも同時募集中
詳しくは南河内農経済センター
TEL: 0285-48-2215
営農課 森田・上野まで

アグリドリパンプ 2022年12月号 No.297

【編集・発行】JAうつみや 総務課組合員広報係 TEL028(625)3380 FAX028(627)3307

E-mail soumuka@jau.or.jp
JAうつみや 検索

上三川支所

だより

各支所の活動や地域の情報を届けします!



上三川城と多功城

上三川町には、中世の城跡が2つあります。今回はこの2つの城をご紹介いたします。

まず初めに「上三川城」をご紹介いたします。上三川城は、建長元年(1249年)宇都宮5代城主藤原頼綱の二男の横田頼業によって築かれました。築城の理由は、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の舞台となる鎌倉時代、鎌倉幕府の実権を握った北条氏に、一族と関係が深かった有力御家人である三浦氏が滅ぼされたことを教訓とし、宇都宮城から見て南方の守りを固めるために築かれたといわれています。現在は、その城跡を利用した美しい公園(上三川城址公園)となっています。

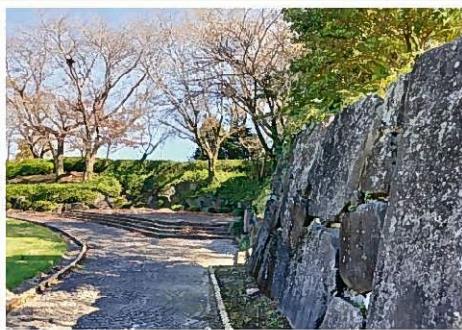
次に「多功城」をご紹介いたします。多功城は、上三川城築城前の宝治2年(1248年)、宇都宮5代城主藤原頼綱の四男(宇都宮廣己文書の系図では七男とあります)の多功宗朝によって築かれました。築城理由は、上三川城築城と同様です。

永禄元年(1558年)5月、越後の上杉謙信が大軍を率いて下野に侵攻し多功城へ攻め寄せた際、多功勢は一族と共に防戦し、激戦の上杉軍を撃退しました。さらに、多功城は数回に渡り北条氏政軍の侵攻による攻撃を受けましたが、上三川城からの援軍などにより一度の敗戦もなく撃退しています。現在は、本丸跡の北から西側の土壘・堀の一部と東側土壘の一部を残しています。

現在の上三川地区を在地としていた武士達は武勇に優れ、自らの在地や愛する者たちを守るために常に武を練り、資材を蓄え、強靭な心と身体を培っていたと想像されます。

ぜひ皆さんもこの2つの城跡を訪れ、上三川の武士達に思いを馳せ、その歴史に触れてみてはいかがでしょうか。

参考:上三川町史編さん委員会、上三川町史 通史編・上巻、上三川町、1981年12月



城跡を利用した美しい上三川城址公園



多功城址の石碑



各種お問い合わせはこちらへ

支所・センター電話番号

中央支所	028-633-3467	南河内支所	0285-48-2211
宝木出張所	028-622-6111	上三川支所	0285-55-1510
平石支所	028-661-4311	宇都宮北部営農経済センター	028-665-0550
南部支所	028-656-1020	宇都宮西部営農経済センター	028-658-6565
城山支所	028-652-0711	宇都宮南部営農経済センター	028-656-8484
北部支所	028-665-0003	宇都宮東部営農経済センター	028-660-3535
豊郷支所	028-624-8011	上河内営農経済センター	028-674-2164
清原支所	028-667-0151	河内営農経済センター	028-673-6911
姿川支所	028-658-6881	南河内営農経済センター	0285-48-2215
上河内支所	028-674-3333	上三川営農経済センター	0285-55-1511
河内支所	028-673-3135	住宅ローンセンター	028-622-7100

■ キャッシュカードの紛失・盗難
フリーダイヤル 0120-082065

■ 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)
事故受付センター フリーダイヤル 0120-258931

■ JA葬祭(24時間受付)
アトラス宇都宮ホール 028-660-5555
アトラスアミラーホール鶴田 028-633-9200
アトラス上三川ホール 0285-55-1555

■ LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配達
フリーコール 0800-700-0085(通話無料)
※緊急連絡先 028-633-0085